

日向石神社と日生の考察

先史古代研究会 中西 厚
丸谷憲二

1 はじめに

日向石神社の日向を調査していて、備前市日生の地名の由来に注目した。『角川日本地名大辞典 岡山県』には、「日生（ひなせ）、古くは「ひなし」と称したという」とある。

『分県地図 33 岡山県』では、日生の範囲は明確ではないが、磯上の真東より 10 度ずれて日生がある。中西厚氏は 5 万分の 1 の地図を見て、真東と説明される。



2 日向石神社

日向（ひむか）を、「日に向かう」と読み、日向石神社より太陽の昇る方向に日生がある。



2.1 日向神社四社

式内社「日向神社」は、日輪祭祀の社であり、『延喜式』に 4 社記録されている。

日向神社（山城国宇治郡）、大和日向神社（大和国添上郡）、神坐日向神社（大和国城上郡）、日向神社（近江国犬上郡）である。

日向神社（山城国宇治郡）を、「宇治郡名勝誌」、「京都府山科町誌」は日向大神宮としている。しかし、「山城名勝誌」、「山城志」、伴信友の「神明帳考証」では別としている。

- ① 日向大神宮（ヒムカヒノ） 京都府京都市山科区日ノ岡夷谷町
祭神 内宮に天照大神・多紀理毘賣命・市寸島比賣命・多岐都比賣命
外宮に天津彦火瓊々杵尊・天之御中主神
第 23 代顕宗天皇の勅願により筑紫日向の高千穂の峯の神蹟より神霊を移し創建
- ② 大和日向神社 奈良県奈良市春日野町 春日大社境内末社
祭神 櫛御方命 飯肩巢見命 武甕槌命
神坐（みわにいます）日向神社 奈良県桜井市三輪 大神神社摂社
三輪山山頂から拝する冬至の朝日は、山頂から直視できる大和と伊勢の国境・高見山（1249m）の彼方、伊勢の方角から昇ることから、当山頂は冬至の朝日を拝する日向の地であったと解され、三輪祭祀の原点には日神信仰であった。
- ③ 日向神社 滋賀県犬上郡多賀町多賀 604 多賀大社境内末社
祭神は天津日高日子火之瓊瓊杵尊（ニニギノミコト）
天平神護 2 年（766）神封二戸。多賀大社の境内にあり。地主神とされている。

2.2 日向（ヒムカ）とは

日向（ヒムカ）とは、“日に向かう” “日を迎える” “日を拝する” を意味している。太陽信仰である。日向石神社鎮座地は日向の地である。日神信仰の聖地である。

3 日生の地名の由来

『日生町誌』の「日生の地名考」に、「大日生町の研究」が紹介されている。日生は「日の生まれる里」の意味がある。昔は深山の一本松、すなわち元水道の貯水池のあるところのあの細道が、奥へ通ずるただ一つの道であったという。奥の方から蕃山へ出て来た人が、この道を通って日生へ来ていたのである。昔の人が、この道を通って、海岸へ出ようとする折、深山の上や三石の白石山の上あたりから東方はるか彼方の海から、昇る太陽を見たのではあるまいか。そして、その偉大さ、美しさに驚嘆し、「おお、日はあそこから生まれる。あそここそ、日の生まれるところだッ。」とさけんだのではあるまいだろうか。この絶唱、賛嘆、驚異、それが名前となったのではあるまいだろうか。日生の人よ、日生の地名に誇りを感じよ。・・・」と。奥へ通ずるただ一つの道が日向石神社からの道である。

4 まとめ

古代祭祀遺跡、北緯 34 度 32 分説の発表は、1980 年 2 月 11 日の NHK テレビ「知られざる古代」である。「奈良県箸墓を中心に、淡路から伊勢まで、太陽崇拜および山岳信仰と何らかのつながりを持つ古代祭祀遺跡が並んでいる。」「その根源は嵩山にあるという。大和の三輪山と同緯度である。」との報告である。

昭和 56 年 11 月 14 日の朝日新聞「吉備国を貫く太陽の道」で、岡山県内では北緯 34 度 39 分の東西線上に多くの古代遺跡や古墳が並ぶことを黒住秀雄氏が報告している。

日向石神社の北緯を星と太陽の会は、34 度 42 分と報告している。8 分のズレである。

日生の命名は日向石神社から見て、太陽が昇ることによる命名である。毎日、新しい太陽が誕生する。まさに「日生とは、太陽が生まれる」である。

磯上西岡に日光廃寺があった。祖先の霊を祭る寺院である。本尊は阿弥陀如来であろう。

観無量寿経の日想観と推定している。

日向石神社は海に向かって鎮座している。『古事記』上巻に、「海を光（て）らして依り来る神ありき。」とあり、『日本書紀』神代巻に、「神（あや）しき光、海（うな）に照して、忽然（たちまち）に浮（うか）び来る者有り。」とある。まさに、**日生の命名の由来**であろう。

5 参考文献

- ① 『角川日本地名大辞典 岡山県』角川書店
- ② 『分県地図 33 岡山県』2015 年 昭文社
- ③ 『日生町誌』吉形士郎編 昭和 47 年 日生町役場
- ④ 『続 知られざる古代 龍王のきた道』水谷慶一 1981 年 日本放送出版協会
- ⑤ 『第 220 回 瀬戸内市（邑久・長船）の磐座・社寺を訪ねて』2011 年星と太陽の会
http://blogs.yahoo.co.jp/kibi_iwakura/22752078.html
- ⑥ 『地図遊び』延原勝志 「きび考第 13 号」2016 年 1 月 先史古代研究会
- ⑦ 『日向石神社、美和神社と神坐日向神社』丸谷憲二 平成 28 年 2 月 3 日
- ⑧ 『湯次神社と多賀神社』丸谷憲二 平成 28 年 2 月 4 日